

2025 年 4 月 23 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：ひなたぼっこ美都

施設種類：グループホーム

会議開催日時：2025 年 4 月 23 日

開催場所：ひなたぼっこ美都 第2談話室

出席者：

(人 数)

利用者	0 人	知見を有する者等	1 人
利用者家族	0 人	地域包括支援センター職員	1 人
地域住民の代表	2 人	益田市職員	1 人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			2 人

* ホームの近況・取り組みについて

・介護度他

◎ 美都① 平均介護度 1.77 平均年齢 86.3 歳

◎ 美都② 平均介護度 1.88 平均年齢 88.8 歳

・事故報告

◎ 美都① 事故報告 0 件（市への報告なし）

◎ 美都② 事故報告 5 件（市への報告なし）

・入居者状況

◎ 美都① 要介護 3 女性、変更申請実施

◎ 美都② 要介護 1 女性、1 週間入院

・職員

◎ 美都① 常勤職員 1 名入院、療養を終え、4 月から職場復帰

◎ 美都② 非常勤職員 1 名、美都①より異動

・研修・取り組み・その他

◎ その他 火災避難訓練

集団指導

本社社屋の引っ越しについて説明

・活動

◎誕生会、お花見ドライブ、ひなたぼっこ、お花見昼食会、他

＊出席者の皆様からのご意見・ご要望

～ひなたぼっこ美都ホーム内を見学して頂く。

・益田市より

◎気温の変化がある為、体調管理に気を付けて頂きたい。

◎4月介護保険料の仮徴収の請求書送付。介護保険料6月に決定予定。その後本徴収の予定。
よろしくお願いします。

◎ホーム内を初めて見学した。美都①と美都②では広さの違いを改めて確認した。

居室や玄関の鍵については離設の心配もあり、対応の難しさを感じた。

・民生委員様より

◎美都①の方が全体に広く、ゆったりとしており、美都②の方は空気が入れ替わらないような
圧迫感があり、入居するなら美都①の方がいいと感じた。

◎美都①浴室の浴槽が、床の上に置いてあり、跨ぎが困難になると浴槽に浸かれなくなるのが
大変と感じた。

◎美都②は避難経路の非常階段が怖いと感じた。

・老人会会長様より

◎米不足や食材料費の高騰など、対応が困難では？

⇒市内の米穀店が、当初美都は遠方なのでと、言われていたが、月に1回程度ならと、配達を引き
うけて頂いている。美都①美都②発注時期を統一し、お願いしている。

・包括支援センターより

◎美都①美都②の広さの違いは、活動量の差になってきているのかと、感じた。

◎帰宅願望により、離設のリスクがある方が、どの施設にも居られる事がわかった。さらに「帰
りたい」という強い思いがつのった時、何をされるか分からない不安も感じた。